


論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 775号	氏名	牟田(井生) 久美子
学位審査委員	主査 酒井 英樹 副査 大園 恵幸 副査 福岡 順也		
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価          長期の腹膜透析療法は腹膜中皮下組織の線維化を引き起こすが、その治療法は確立されていない。本研究は、ヒストン脱アセチル化酵素 (HDAC) 阻害剤である suberoylanilide hydroxamic acid (SAHA) の腹膜線維化抑制効果を検討したもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価          マウス腹膜線維症モデルを対象として SAHA を皮下投与し、腹膜の変化を免疫組織学的に検討するとともに、線維化の促進あるいは抑制に関連する因子を分子生物学的に解析したものであり、研究手法は妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価          上記手法で解析した結果、マウス腹膜線維症モデルにおいて、HDAC 阻害剤である SAHA の腹膜線維化抑制効果およびその機序の一端が明らかとなり、今後の腹膜透析患者における腹膜線維化治療への応用が期待される。</p> <p>以上のように本論文は腹膜透析療法における腹膜線維化研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			

(注) 報告番号は記入しないこと